

第 1 回宇都宮市まちづくり交付金評価委員会

日時：平成 23 年 11 月 11 日(金)
午前 9 時 30 分～午後 3 時 30 分
場所：市庁舎 14 階 大会議室

出席委員

委員（学識経験者）

山島哲夫委員，三橋伸夫委員，那須野公人委員，
塩野谷ふじ子委員，野澤省一委員

臨時委員（地区代表）

「中里・金田地区」

武田次男委員（中里原土地地区画整理審議会長）

「宇都宮テクノポリスセンター地区」

大登政行委員（野高谷町自治会長）

「雀宮駅周辺地区」

宇賀神源泉委員（雀宮地区連合自治会長）

（8名）

欠席委員

なし

出席幹事

大島一夫幹事，宇梶嘉修幹事，福原 悟幹事，
山中昌幸幹事，若狭康伴幹事，平手義章幹事，鈴木勝雄幹事，
戸村敏雄幹事，増渕重子（鈴木裕之幹事の代理）

（9名）

事務局

青柳高行書記，上吉原正弘書記，森田秀和書記
（3名）

< 1. 開 会 >

事務局

それでは定刻となりましたので、これより平成23年度第1回まちづくり交付金評価委員会を開催いたします。

私、司会を務めます市街地整備課 課長補佐の青柳でございます。よろしくお願いたします。

はじめに、本委員会につきましては、設置要綱第8条により『委員の過半数の出席をもって開催する』規定となっております。

本日の出席者数は、8名ですので、開催要件の過半数を満たしておりますことをご報告申し上げます。

(委嘱状交付)

< 2. 挨拶 >

事務局

それでは、ここで都市整備部長の大島よりご挨拶申し上げます。

大島幹事

皆さんおはようございます。

改めてのご挨拶ということになりますが都市整備部長の大島でございます。

皆さま方には、この度、委嘱状をお渡しさせていただきましたけれども、宇都宮市まちづくり交付金評価委員会委員をお引き受けいただき誠にありがとうございます。

また本日は天気も悪い中、またお忙しい中、ご出席をいただきまして重ねてお礼申し上げます。

さて、宇都宮市では目指すべき将来の都市像ということでコンパクトシティというものを目指しております。

現在はその実現のため複数の地区で地域の拠点づくりを目指しているところでございます。

その整備にあたりましては国土交通省のまちづくり交付金を活用させていただいており、具体的には土地区画整理事業といった手法で地域の特性を生かしながら、それぞれの拠点を個性と魅力あるものにしていこうということで各事業を実施しているところでございます。

また、それに加えて事業そのものが効率的、効果的なものになりますように努めているところでございますが、それぞれの事業が完了いたしますと、行政といたしましては完了後その事業

目的が確実に達成できたかどうかを検証し，皆さまの方に説明していく説明責任が求められているところでございます。

その説明責任を果たすわけでございますが，評価がお手盛りではいけませんので，それぞれの事業につきましては適正に評価しているかどうか，客観的に検証し進めていかなければなりません。

こうしたことから，本日の評価委員会を開催させていただいたところであります。

委員の皆さまにはご専門のお立場，あるいは地域の視点から，それぞれの事業について忌憚のないご意見をいただきますようお願いいたします。

それからこの委員会ですが本日と来週ということで2回に分けて開催いたしますが，ご審議をいただく対象地区が3つございますので，皆さまにはお忙しいスケジュールになるかと思いますがどうぞご協力のほどよろしくお願いしたいと思っております。

大変簡単ではございますがご挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

< 3. 出席者紹介 >

事務局

それでは，本日，初めてお顔を合わせる方もいらっしゃると思っておりますので，改めて皆様のご紹介をいたします。

はじめに学識委員からご紹介いたします。

宇都宮共和大学シティライフ学部 学部長の
山島哲夫委員です。

続きまして，宇都宮大学工学部教授の
三橋伸夫委員です。

続きまして，作新大学経営学部教授の
那須野公人委員です。

那須野委員には，今回新たに委員を委嘱しております。

続きまして，NPO法人栃木県環境カウンセラー協会監事の
塩野谷ふじ子委員です。

続きまして，元宇都宮市都市開発部 部長の
野澤省一委員です。

続きまして，今年度，評価の対象となっている各地区から

臨時の委員を委嘱しておりますので、ご紹介いたします。

まず、中里・金田地区から
武田次男委員です。

続きまして、宇都宮テクノポリスセンター地区から
大登政行委員です。

そして最後に、雀宮駅周辺地区から
宇賀神源泉委員です。

皆様よろしくお願いたします

ここで委員を補佐する幹事につきましてもご案内いたします。

都市整備部 部長の大島一夫です。

都市整備部 次長の宇梶嘉修です。

市街地整備課 課長の福原悟です。

西部区画整理事業課 課長の山中昌幸です。

北部区画整理事務所 所長の若狭康伴です。

地域政策室 室長の平手義章です。

道路建設課 課長の鈴木勝雄です。

公園管理課 課長の戸村敏雄です。

生涯学習課 課長の鈴木裕之です。本日は代理者の出席となります。

また、宇都宮テクノポリスセンター地区の施行者である
独立行政法人都市再生機構を代表いたしまして、
首都圏ニュータウン本部 栃木開発事務所 所長の
菊地常夫様です。

事務局

それでは、ご用意いたしました会議資料についてご確認をさせていただきます。

- ・ 第1回宇都宮市まちづくり交付金評価委員会次第
- ・ 資料1 中里・金田地区の概要について
- ・ 資料2 宇都宮テクノポリスセンター地区の概要について
- ・ 資料3 雀宮駅周辺地区の概要について
- ・ 現地調査ルート案内図（位置図）

及び各地区の

- ・整備方針概要
- ・都市再生整備計画 さらに、
- ・宇都宮市まちづくり交付金評価委員会運営要領
- ・宇都宮市まちづくり交付金評価委員会設置要綱 です。

以上の資料をお手元にご用意いたしました，
配布漏れなどはございませんか。
よろしいでしょうか。

事務局

本会議は，平成16年度に国土交通省により創設された「まちづくり交付金」制度に基づき開催するもので，当初計画したまちづくりの目標に沿って実施された事業が，どの程度達成されているか評価した内容についてご審議いただくものです。

本会議の委員長についてですが，当委員会設置要綱第7条第1項により，委員の互選により選出することとなっております。また，職務代理者におきましては，同条3項により委員長が指名することとなっております。

委員長については，これまで山島委員に務めていただいておりますが，委員長の選任について，皆様，ご意見はありますか。

野澤委員

これまでも宇都宮市をはじめとする多くの都市においてまちづくりに携わり，都市計画や建築関係の分野で幅広く活躍され，経験豊富である山島委員を推薦したいと思いますが，いかがでしょうか。

事務局

ただ今，野澤委員から山島委員を委員長に推薦する旨のご意見がございましたが他にご意見はございますか。

各委員

異議なし。

事務局

それでは山島委員を委員長として選出させていただきます。山島委員よろしくお願いたします。

議事の進行は，山島委員長にお願いしたいと思います。
よろしくお願いたします。

山島委員長

ただ今、委員長に推薦いただきました山島でございます。

先ほど大島部長の話にもありましたとおり、宇都宮市はまちづくり交付金事業を非常に積極的に導入しております。

しかもいろいろ関連する事業を一緒に実施するなど幅広く活用しています。この事業の成果が出ているかを内部だけでなく外部の人を含めて評価するのが今回の委員会です。特に、地元からお三方に参加していただいておりますので、忌憚のないご議論をいただければと思います。よろしく申し上げます。

それでは議事に入る前に、職務代理者の選出でございますが、先ほどの説明のとおり、委員長が指名すると定められてございます。これまでも職務代理者を務めていただいて、まちづくりに非常に高い見識をお持ちである三橋委員にお願いしたいと思っております。よろしいでしょうか。

三橋委員よろしくお願いいたします。

それでは、議事次第に従って進めてまいります。まず、当委員会運営要領第3条に基づきまして、本日の会議の議事録署名委員といたしまして三橋委員と那須野委員にお願いしたいと思っております。よろしくお願いいたします。

< 4 . 議 事 >

山島委員長

それでは、議事に入ります。議題といたしまして、諮問のありました平成23年度にまちづくり交付金が終了する地区に関わる事後評価原案3件について、審議を行います。

審議にあたりましては、市の「附属機関等の会議の公開に関する要領」により原則公開となりますが、公開することで異議はございませんか。

各委員

異議なし。

山島委員長

では本日、公開での開催といたします。

それでは、時間があまりないので、3地区についてそれぞれご説明をお願いします。

また、本日の予定として10時45分に現地調査に出発する予定となっておりますので、説明と簡単な質疑をしたいと思っております。

分からないところは担当の方も現地に行くのでその際、質問い

＜中里・金田地区
概要説明＞

若狭幹事

ただければと思います。それではよろしく申し上げます。

では中里・金田地区について、申し上げます。

北部区画整理事務所長の若狭でございます。

議事（１）の中里・金田地区の概要についてご説明いたします。

なお、申し訳ございませんが着座にて、ご説明させていただきます。

それでは、お手元の資料１または、スクリーンをご覧ください。

はじめに中里・金田地区の概要についてでございますが、本地区は、市内中心部から北へ約 15km、一般国道 293 号と主要地方道藤原宇都宮線との交差部周辺に位置し、自然と歴史・文化、生活環境など、調和の取れた地域であるとともに、市街地との地理的関係からベッドタウン的な役割を持つ地域であります。

現在、主要地方道藤原宇都宮線の 4 車線化が行われ、市内中心部へのアクセスの向上が見込まれており、今後、同沿線地域を中心に都市化が急速に進むことが予測されております。また、地元からは日常的な生活を支える生活環境の整備を求める声が高まっております。

このため、合併前の旧上河内町において平成 13 年度に都市計画基本方針を策定し、平成 15 年に用途地域の決定を行いました。

また、土地区画整理事業、道路事業などを行うため、平成 18 年度に都市再生整備計画（旧まちづくり交付金）の採択を受け、平成 19 年から本事業を着手、平成 22 年には「第 2 次宇都宮市都市計画マスタープラン」において地域交流拠点として位置づけ、事業の推進を図っているところであります。

次に、計画の概要についてであります。地区名は中里・金田地区、面積 232 ヘクタール、交付期間は平成 19 年度から平成 23 年度の 5 カ年間であります。交付対象事業費は約 15 億円で、国費は 40.3% の約 6 億円となっております。区域といたしまして、中里町、金田町、上田町、松田新田町の各一部を設定しております。

こちらは計画区域図でございます。点滅している赤線の内側が

事業対象エリアで中央を東西に走っているのが、一般国道 293 号でございます。また、中央を南北に走っているのが主要地方道藤原宇都宮線でございます。青色で表示してあるのが中里原土地区画整理事業の区域でございます。

次に、まちづくりの目標の設定でございますが、
大目標といたしまして、新規転入者の増加、公共施設の利用促進、歩行環境の安全性を高めるため、
「住みやすく暮らしやすい生活都市の形成」としております。
小目標といたしましては、3つありまして、
1つ目として、宅地購入を誘導できる付加価値のある居住環境が求められることから、
「高い利便性と周辺環境と調和した魅力的な居住地づくり」
2つ目として、良質な公共サービスをより多くの住民に提供するため、「充実した公共サービス利用等を促す効率的な街なかネットワークづくり」
3つ目として、深刻化する少子高齢化や地方都市における犯罪が増加傾向にあることから、
「安全安心の歩行環境づくり」を設定しているところであります。
こちらは、事業位置図でございますが、先ほどのまちづくりの目標に基づきまして、基幹事業として黄色で表示している道路事業42路線、公園2箇所、調整池2箇所、歩行者専用道路、街路灯の整備がございます。
提案事業として青色で表示している古用水改修、公園進入道路の整備がございます。

続きまして、整備状況について説明いたします。

まず、基幹事業のうち道路事業であります。中里原土地区画整理事業区域内の区画道路37路線と市道10111号線、市道13125号線の2路線、合わせて39路線について整備を行いました。残りの3路線につきましては今年度整備予定です。

写真左側ですが中里原土地区画整理事業区域内の区画道路である市道13381号線です。

この道路は区画整理区域内の幹線道路であるため、歩道を設置

し、歩車道分離を図ることにより通行者の安全性を確保するとともに、バリアフリーに配慮し、歩道と車道の段差を少なくいたしました。

続きまして、写真右側の市道10111号線ではありますが、上河内自治センターに接しており、利用者に対し、施設へのアクセス向上を図るため、同様に歩道を設置いたしました。

続きまして、市道13125号線ですが、元々地区の主要道路でありましたが、幅員が3mと狭かったため、利便性の向上を図るため、道路の拡幅及び、自転車歩行者通行帯のカラー舗装を行いました。

続きまして、公園事業でございますが、整備に際しましては、地元自治会とワークショップを行い、整備内容を決定し、また公園名につきましては地元小学校から公園名を募り、1号公園が中里原ゆずっこ公園、2号公園が中里原なかよし公園と命名しました。1号公園については、既に整備完了しました。写真は、整備が完了した1号公園の中里原ゆずっこ公園でございます。

また、2号公園については年度内に整備完了予定です。

続きまして、地域生活基盤施設でございますが、地域生活基盤施設とは、まちとして基本的な機能を充足するための施設であります。その中の地域防災施設としまして、2箇所の調整池を整備しました。その調整池ですが、区画整理事業による宅地化に伴う雨水排水を放流するにあたり、下流域の溢水等による被害を防ぐため、整備を行いました。

続きまして、高質空間形成施設でございますが、高質空間形成施設とは、快適性や景観に配慮した施設であり、区画整理事業区域内に歩行者専用道路を整備いたしました。

内容につきましては、周辺環境に調和した安全な歩行空間を確保するため、車止めを設置しインターロッキング舗装をしました。

また、公共施設が集積する地域自治センター周辺の道路におきましては、日没後の施設利用者、通行者の安全性を高めるため、街路灯を年度内に整備する予定でございます。

続きまして、提案事業の中の地域創造支援事業でございますが、地域創造支援事業とは、市町村の自由な発想・提案に基づく、地域の実情を反映した幅広い事業であり、その事業として古用水改

修整備と公園進入道路整備を行いました。

まず、古用水の整備でございますが、古用水は中里原土地区画整理事業区域内を縦貫して流れており、地区外との自然環境や景観が調和するよう植生ブロックを用いた護岸整備をしました。

次に、公園進入道路整備事業でございますが、公園利用者に対しまして、ゆるやかなスロープで入り口を整備し、1号公園へのアクセス性向上などを配慮し、整備いたしました。

簡単ではございますが以上で中里・金田地区の概要説明を終了させていただきます。

山島委員長

どうもありがとうございました。今の説明を聞いて質問、ご意見はありますか。三橋先生はいかがですか。

三橋委員

では質問させていただきますが。この中里原土地区画整理事業の減歩率と現在の建物の建築状況はいかがですか。

若狭幹事

中里原の減歩率ですが合算減歩で30.0パーセントでございます。現在の建物棟数につきましては区域内に42棟が建築されております。内訳は戸建て住宅が27棟、共同住宅が15棟でございます。

山島委員長

計画戸数はいかがですか。

若狭幹事

計画戸数としては無いのですが計画人口としては1,000人と設定しております。

山島委員長

この地区は元々旧上河内町でまちづくり交付金を入れたんですよね。

若狭幹事

はいそうです。19年に合併したわけですが合併前の18年に計画しております。

山島委員長

ここは都市計画のエリアとしては宇都宮に入っているのですか。

若狭幹事 ここは宇都宮都市計画区域でなく上河内都市計画区域となっています。

山島委員長 そうすると線引きは実施していますか。

若狭幹事 上河内についてはまだ線引きを実施していません。

山島委員長 線引きをしてないという前提での議論になりますね。
はいどうぞ。

野澤委員 同じ土地区画整理事業についてですが、区域内に 42 戸あるということですが、既存の建物は何棟で新たな建物がどれだけ建ったのかという内訳と、区域内の公共施設の進捗状況、仮換地指定の進捗状況を教えていただければと思います。

若狭幹事 まず一番目の質問の区域内にあった建物ですが元々は 1 棟しか
ございませんでした。それが現在は 42 棟新築されております。こ
れは地区外から転入の住民でございます。

 なお、区画整理の進捗でございますが今年度の 9 月 16 日に換地
処分をしておりますので工事は全て終わっております。

 また、先ほど説明の中で申し上げました道路事業の 3 路線と高
質空間の道路照明は今年度整備予定です。また公園事業は今年度
完了予定で間もなく発注するという状況であります。

野澤委員 ありがとうございます。それと 42 戸が新たに建ったということ
ですが保留地は何区画ですか。

若狭幹事 保留地は 15 区画でございます。

野澤委員 結構大きな面積の区画なんですか。

若狭幹事 区画は大きく設定し平均して 100 坪の面積を取っております。

野澤委員 保留地が 15 区画ということは 42 戸の内かなり一般権利者の土

地を購入して建てられたんですね。

若狭幹事

はい。保留地を昨年と一昨年の2カ年で販売しましたが応募者がかなり多く、抽選を行ったという状況です。旧宇都宮市のほか鹿沼市やさくら市など広範囲から応募がありました。

野澤委員

進捗状況についてありがとうございます。

山島委員長

中里原の少し手前、グリーンタウンではバスの利便が良くないと聞いています。ここは交通手段がどうなっているのか聞きたいところですが、議論し出すと終わりませんので具体的な話は現地で改めて聞くということによろしいですか。

<宇都宮テクノポリスセンター地区
概要説明>

平手幹事

地域政策室長の平手でございます。

資料2にそってスライドもあわせてご説明いたします。

それでは着座のまま、ご説明させていただきます。

では、前のスクリーンにより『議事(2)宇都宮テクノポリスセンター地区の概要について』を報告させていただきます。

はじめに、宇都宮テクノポリスセンター地区の概要についてありますが本地区は、平成9年から都市再生機構により土地区画整理事業が行われており、清原工業団地や芳賀工業団地等に近接する宇都宮市の東部拠点、鬼怒川左岸地域の発展の核として高いポテンシャルを有する地区であります。

当地区においては、現在、地域の生活を支える多様な都市機能の集積とともに、周辺に展開する工業団地と職住近接や郊外居住ニーズの受け皿となるゆとりと質の高い生活空間を備えた良好な市街地の形成を図っており、都市計画道路整備に合わせた区画道路や公園等の一体的な整備が求められているところであります。

また、地区内に立地する「とちぎ産業創造プラザ」を中心に、各工業団地や大学等との連携による「産・学・住・遊」機能の充実や地域の環境、利便性を高めることにより、地域の魅力向上を

図ることが必要となっております。

このため、平成 19 年にまちづくり交付金の採択を受け、「第 2 次宇都宮市都市計画マスタープラン」において本地区を地域交流拠点、産業・流通拠点として位置づけた宇都宮テクノポリスセンター地区 177.2ha の整備計画区域において事業の推進を図っているところでもあります。

次に計画の概要についてであります。地区名は、宇都宮テクノポリスセンター地区、面積 177.2 ヘクタール、交付期間は平成 19 年度から平成 23 年度の 5 カ年であります。

交付対象事業費につきましては、約 15 億円、国費については、交付対象事業費の 40% を交付していただいております。

区域といたしましては、野高谷町、刈沼町その他であります。

計画区域につきましては、赤色の線で囲まれた区域であります。

JR 宇都宮駅から直線で約 7 km、清原工業団地から約 4 km に位置しており、区域東側については、芳賀町と接しております。

次にまちづくりの目標について説明させていただきます。

まちづくりの目標の設定でございますが、

大目標といたしまして、

『「とちぎ産業創造プラザ」を中心とした産業交流拠点の形成、計画的な交通ネットワークによる利便性及び安全性の確保、適切な公園配置による住環境の向上及びコミュニティ形成の場の確保、良好な環境の住宅地を主体とした計画的な市街地形成による定住人口の拡大』としております。

小目標といたしまして、

『近接する大規模工業団地や計画的に整備される交通ネットワーク等の優位性を活かし、事業所の立地促進を図る』

2 つ目として、『幹線道路及び補助幹線道路を中心とした、交通ネットワークにより利便性を向上させる。区画道路の最低幅員を 6m に設定し、災害時における延焼防止及び避難路の確保等、安全の確保を図る。』

3 つ目として『誘致距離を考慮し、適切に公園を配置し、コミュニティ形成の場を確保するとともに住環境の向上を図る。一

定距離以内に公園を配置することにより，災害時の防災機能の充実に資する。』

4 つ目として『良好な居住環境を有する住宅地を主体とした計画的な新市街地の形成により定住人口の拡大を図り，賑わいを図る。』と設定しているところであります。

まちづくりの目標に基づきまして，土地区画整理事業や近隣公園整備などの事業を展開しておりますが，詳細につきましては，この後，順次説明してまいります。

まず土地区画整理事業といたしまして，災害時における延焼防止及び避難路の確保等の観点から幅員 6m の区画道路を整備しております。まちづくり交付金を活用しまして，約 8.7km を整備したところでございます。

次に，公園整備でございますが，良好な住環境の創出や災害時に一時的に避難できる場所の確保を図るため，地区内の近隣公園 2 箇所を整備しております。先ず，地区内の西側に位置しております，近隣公園 1 号につきましては，昨年度から施設整備に着手し，今年度末の完成を予定しております。

次に，地区内の中央に位置しております近隣公園 2 号についてでございますが，こちらも，近隣公園 1 号と同様，昨年度から施設整備に着手し，今年度末の完成を予定しております。

続きまして，まちづくり活動推進事業として，テクノ地区に関する情報提供として地区の魅力を PR のためのパンフレットを作成し，各種イベント等で配布を行っているところであります。

事業の説明につきましては以上でございます。

これで宇都宮テクノポリスセンター地区の概要説明を終わらせていただきます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

山島委員長

どうもありがとうございました。

テクノポリスセンター地区については交付対象事業はあまり多くありません。この辺は全体的に那須野先生いかがですか。

那須野委員

先ほどと同じ質問でありますけれども，きれいに整備されているというのはよく目にしているんですけども，居住者はどれく

らい増えているのでしょうか。

平手幹事 6月21日の時点でございますけれども区内人口が2017人、世帯数が918世帯です。

山島委員長 ちなみに整備前はいかがですか。

平手幹事 区画整理前は145世帯です。

山島委員長 機構施行とのことですが保留地の状況はいかがですか。

平手幹事 保留地の処分につきましては現在48.8パーセントの処分率でございます。

山島委員長 保留地の中で住宅地以外の部分はいかがですか。

平手幹事 公団が先買いしている取得用地も合わせてトータルでの処分率は造成宅地の56パーセントです。

三橋委員 この約15億という事業費と区画整理はどのような関係ですか。区画整理事業全体の事業費ではないのでしょうか。

山島委員長 この15億は何が対象ですか。

平手幹事 近隣公園と区画街路、パンフレットの作成を合わせて約15億です。内訳は公園で5億1,000万、道路整備費で9億7,900万、まちづくり支援のパンフレット作成で200万となっており、区画整理全体の事業費ではありません。

山島委員長 交付対象事業は順調に進んでいて、今回は区画整理全体がどうかという議論は評価としてはそこを除いて行わないといけないということですね。そうでないとこの区画整理は何のお金でやったのという議論になってしまいますので。他にどうでしょうか。

塩野谷委員

公園の事業費が大きいですがけれども事後評価ということですので現地に行った際、公園の整備目的である住環境の面ですとか生活の安全安心のための公園の機能などを後で詳しく伺いたいと思います。

山島委員長

それではまた現地でいろいろご質問をいただきたいと思います。次に雀宮駅周辺地区についてお願いします。

<雀宮駅周辺地区

概要説明>

山中幹事

西部区画整理事業課の山中でございます。

雀宮駅周辺地区の概要について資料3になり、またスライドによりましてご説明いたします。また、その後現地もご確認いただきたいと思いますので、よろしくお願いたします。

それでは着座のままご説明させていただきます。では前のスクリーンの方をご覧ください。引き続き議事(1)『雀宮駅周辺地区の概要について』でございます。

本地区は JR 宇都宮駅の約 8 キロメートル南に位置する雀宮駅に位置し、南北に走る JR 東北本線と国道 4 号を軸に商店街や住宅形市街地が形成され、都市的な土地利用が進んでおります。

しかしながら、近年、駅利用者が減少傾向にあるとともに、駅周辺においては駅前広場や周辺道路の整備が不十分なため、通勤・通学時間帯には自動車・歩行者・自転車とが錯綜し、危険な状態にあり、交通結節機能や交通の利便性の向上が求められております。

また、本地区の南にあります雀宮地区市民センターにあるホールや会議室の稼働率が高く、市民活動が活発な地区であるにもかかわらず、文化施設などの公共施設が少ない状態にあり、さまざまな活動に対応できる環境の整備などについても求められておりました。

このような状況のなか、「宇都宮都市計画マスタープラン」におきまして、本地区を本市南部の地域交流拠点として位置付け、平成 19 年度より都市再生整備計画、旧まちづくり交付金の採択を受けまして、事業を進めてきたところでございます。

次に、計画の概要でございますが、地区名は雀宮駅周辺地区でございます。面積は65.1ヘクタール、交付期間としては平成19年度から平成23年度の5ヵ年間でございます。交付対象事業費といたしましては、約87億8千万円、国費率は約33%でございます。計画区域といたしましては、雀の宮1・3・5丁目、雀宮町、下反町町、上御田町ほかであります。計画区域につきましては、JR雀宮駅を中心とする赤色で囲まれたところでございます。

次に、まちづくりの目標の設定でございますが、大目標といたしまして、「駅機能の強化や文教施設の機能集積を図ることで、市南部地域の都市拠点にふさわしいまちを形成する」としております。

小目標といたしましては、「地区の玄関口となる駅関連施設等の整備をすることにより、雀宮駅を中心とした利便性と安全性の高まった多様な都市機能を備えた地域核拠点を形成する」、2つ目として、「駅周辺の道路・踏切・東口駅前広場等の基盤整備を実施することにより、駅へのアクセス性、交通安全性、快適性を向上させる」、3つ目として、「駅東口に文教施設を中心とした都市機能の集積を図ることにより、図書館利用の機会均等化や地域の交流・生涯学習活動の支援・育成等を図る」と設定しているところであります。

その目標に基づきまして、ご覧のように様々な事業を展開しておりますが、これらの事業につきまして、順次説明してまいります。お手元の資料「都市再生整備計画の概要」の右上に位置図がありますので、併せてご覧ください。

まず、道路事業でございますが、市道5730号線、市道1753号線など9路線について、整備を行いました。

まず、スライド左側の市道5730号線でございますが、こちらは駅の東方面からの駅周辺への円滑なアクセスを確保するため新設された道路でございます。後でご紹介いたしますが、整備された市立南図書館や県立宇都宮工業高校への円滑なアクセスを確保する道路でもございます。

続きまして、市道1753号線、そして市道1380号線でございます。

すが、駅周辺の整備にあわせ、既存市道の拡幅と歩道等の整備を行いました。

続きまして、市道 713 号線でございますが、こちらは、既存道路の拡幅と歩道の設置及び踏切道の拡幅を実施し、駅周辺の円滑で安全な東西のアクセスを確保いたしました。

続きまして、市道 5777 号線、市道 5778 号線、そして市道 5744 号線でございますが、こちらは、既存の駅周辺の市道と、駅東口に新しく整備された市道 1753 号線を結ぶ道路として整備いたしました。

なお、駅西口広場周辺でございます区画道路 1 号・2 号につきましては、今後着工予定で、来年度の供用開始予定となっております。

続きまして、地域生活基盤施設でございますが、雀宮駅東口駅前広場、調整池、駐輪場の整備を行いました。

まず、雀宮駅東口駅前広場でございますが、広場面積は約 3,330 平方メートルで、バス・タクシー・一般車の乗降場と、4 台分のタクシープールを整備いたしました。また、高齢者や障がいを持った方をはじめ、誰もが安全・安心に利用できるようにするため、車道と歩道のバリアフリー化を図り、横断歩道の段差解消や点字ブロックの設置、バス・タクシー・一般車乗り場には雨よけのシェルターを設置しました。また、広場内には公衆トイレや利用者が休憩できるベンチ、公衆電話なども設置しております。

続きまして、調整池でございますが、これは、駅東口周辺における雨水対策等のため、整備をいたしました。

続きまして、駐輪場でございますが、交通結節機能の強化を図るため、自転車や二輪車が約 450 台利用できる屋根付きの駐輪場の整備を行いました。

続きまして、高次都市施設といたしまして、自由通路、地域交流センター、また提案事業の地域創造支援事業として、雀宮橋上駅舎、地域交流センターの整備を行いました。雀宮橋上駅舎は自由通路と、南図書館は地域交流センターとそれぞれ一体になった施設として整備しておりますので、順にご説明させていただきます。

まず、地域創造支援事業といたしまして雀宮橋上駅舎、そして

自由通路を，一体の施設として整備を行いました。

まず，雀宮橋上駅舎についてでございますが，駅利用者の利便性向上と雀宮駅の交通結節点の機能強化のため，旧駅舎にかえて整備を行いました。駅構内にエスカレーターが 3 基，エレベーターが 2 基設置されており，バリアフリーにも対応した施設となっております。

続きまして，自由通路でございますが，橋上駅舎と連続した施設になっておりまして，駅東口・西口の連携による交通結節点の機能強化のため，新たに整備を行いました。全長は約 160 メートルで，誰もが安全・安心に利用できるよう，エレベーターとエスカレーターを東口・西口にそれぞれ各 1 基設置しております。エレベーターにおきましては，ガラスを多用しまして，明るさ，見通しのよさを含めて開放性だけではなく，防犯性や視認性にも配慮したつくりとしております。また，西口のエスカレーターの下に，24 時間利用可能な公衆トイレも整備しております。

続きまして，地域創造支援事業といたしまして市立南図書館，そして地域交流センターを，一体の施設として整備を行いました。これらは，『多様な市民が集い，“宮っこ”を育む複合拠点』というコンセプトのもと，図書館機能と交流機能を併せ持った多機能型の施設として整備し，本年 7 月にオープンいたしました。

まず，南図書館でございますが，市内では東図書館など 4 ヶ所の図書館がありますが，雀宮地区をはじめとする市南部地域におきましては，図書館等の文教施設に対する需要が高いのに対し，これまでは図書館機能を持つ施設は雀宮地区市民センターの図書室だけであり，図書館の早期整備が求められていたところでございます。今回の整備により，市南部地域の方々の図書館の利用環境が格段に向上したことで，市内の図書館利用の機会の均等化を図ることができたと考えております。

続きまして地域交流センターでございますが，地区の活発な市民活動や生涯学習活動など，地域住民の多様な活動の支援・育成を図るため整備を行い，こちらも本年 7 月にオープンいたしました。構成する主な施設として，多目的ホールや会議室，ギャラリー，ワークスペース，プレイルーム等を備えております。雀宮地区をはじめとする市南部地域では，このような文化施設の利用環

境がこれまで整備されておらず、市民の方々の様々な活動を行う場の確保が難しかった状況でございましたので、ご利用の市民の方々には大変満足して頂いているところでございます。

事業の説明につきましては以上のとおりでございます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

山島委員長

ありがとうございました。それではこちらはかなり盛りだくさんですが質問、ご意見等いかがですか。

三橋委員

事後評価とあまり関係ないのかもしれませんが、橋上駅舎の事業費が約14億でその内JR負担が2億弱、宇都宮市が11億強で8割以上を市が負担する形になっているようです。JRが整備するのに市の負担率が高くそこまで負担しなければいけないのかと感じました。どういう形で負担が決まるのか興味があります。

山中幹事

まず橋上駅舎につきましてはJRとの協議において、既存の駅舎の建替え相当分でありますとか、バリアフリー対応の部分などについて負担していただくことになっております。

山島委員長

駅を新設したいということになるとほとんど地元が負担するようですね。元々整備しなければならない部分はJRに負担してもらったということだと思います。これはできれば現地で詳しく説明していただければと思います。

塩野谷委員

図書館の本の貸出冊数が入っていたと思うのですが地域交流センターの多目的ホールの稼働率はいかがですか。

増淵代理

7月に開館してから10月末現在で多目的ホール等については四つに利用区分が分かれておまして、1区分の平均は42パーセントの稼働率になっております。

会議室については38パーセントですが、多目的ホールの延べ利用回数ですと155回という状況です。

ギャラリーについては10月ですと100パーセントの稼働率を記録しましたが通算で65パーセントの稼働率となっております。

- 塩野谷委員 ありがとうございます。それから駐車場はどうでしょうか。
- 山島委員長 駐輪場のほかに駐車場も整備しているのですが交付金の対象ではありません。参考までに駅の駐輪場の状況はいかがですか。
- 山中幹事 まちづくり交付金を活用し東口駅前広場の北側に駐輪場 450 台分を整備いたしまして5月末時点の稼働率で約6割です。その中で定期利用の割合はかなり高いという状況です。
- 塩野谷委員 駐車場の利用者について石橋駅に随分取られているのではないかと思ったものですから。整備されたのでこれで雀宮駅が元気になるのかなと思いました。
- 山島委員長 この地区は盛りだくさんで現地でもいろいろ意見が出てくるのではないかと思います。地域交流センターと図書館に8月に行く機会があったのですが非常によく利用されていたという印象を受けました。駐輪場が先にできて図書館が7月と後からできたわけですよ。
- 山中幹事 駐輪場は3月末に完成しております。
- 山島委員長 ここは図書館の隣に宇都宮工業高校もありますが元々調整区域なんです。これはここでの議論ではありませんが、駅の真ん前が調整区域で周囲をどう活用していくのかというのは今後の課題だと思います。ここはまだ調整区域ですか。
- 山中幹事 そうです。
- 那須野委員 調整池はかなり広そうですが単純に水を貯めるだけですか。場合によっては水が無い時にはグラウンドとして活用するなどできるのではないかと思います。
- 山中幹事 現在のところブロック積みでフェンスで囲まれておりまして調整池機能のみとなっています。

山島委員長 雨天ですので今貯まっていますね。那須野委員がおっしゃるよ
うに通常時には何か使えないかなという気はします。

山中幹事 調整池から既存の給分川という川に流れているんですが河床が
1.5mから2mの掘割りとなっておりまして流下能力の関係上、別
の機能を持たせるのは難しい状況です。

山島委員長 現地でも見てみましょうか。

他にありませんか。丁度予定していた時間になりました。本番
の議論は来週ですし、また現地でいろいろご質問いただきたいと
思います。とりあえずここで終わりにしたいと思います。

<4(2)現地調査> (現地調査)

山島委員長 それでは議論を再開したいと思います。現地をご覧いただい
て気づいた点等があればお願いしたいと思います。では地区ごと
に地元委員の方がおられますので一言ずつ現地で聞いた補足のよ
うなことをお願いしたいと思います。

武田委員 私の地区では中里原土地区画整理事業ということで最初に見て
いただきました。上河内地域というところは宇都宮の中心街や県
庁から約15kmに位置しております。道路の拡幅ということで片
側2車線、両側歩道が3.5mずつの25m道路が計画されており、
市内からつながる予定になってはいますが、上河内地域においては
先に用地買収が済んでおり、皆さまにご覧いただきましたように
一部の区間ではありますが25m道路ができております。

旧河内地域は旧道と新幹線(高架橋)の間、田んぼの中を通る予
定となっておりますけれども、用地買収が終わったとか終わらな
いとか情報不足ですが聞いております。今回の大震災の関係で復
興が最優先でしょうから予算が回ってこないという状況も仕方な
いとは思いますが、できれば早く進めていただきたいと思います。

また、上河内地域はかつて2,500世帯ほどの地域で地形的には
栃木県の中央に位置しているにも関わらず都市計画が遅れている
地域と周りから見られていました。歴史的な背景といたしまして、

上河内は下小倉米として評判がよかったということでコシヒカリさえ作っていただければ何とかなるということもあり、遅れていたのではないかと思います。私は元々農家ではありませんし福島県生まれで移り住んで30年ということで昔のことは分かりませんが、農家の皆さんといろいろ話しますと、こうした事情から多少世の中の流れに乗り遅れていたのかなと思います。

おかげさまで世の中の波に乗らせていただきまして、これからも皆さんのお世話になりながら活性化につなげていきたいなと思っております。以上です。

山島委員長

まだまだと思っておりましたが今日行ったら建物も結構建っていましたね。

大登委員

野高谷町の大登です。今日、URさんなどから公園などの説明をいただきましたが、さくら公園は整備されたのですが、一本杉公園は整備中であり評価するのは難しいと感じました。

また一般住宅が建っているところも見ていただきましたが、その周りでは結構アパートが多いことを気にされた方もいるかもしれません。アパートがかなり多いのです。これからまだ建設が続いて状況が変わっていくのだとは思いますが。私からは以上でございます。

宇賀神委員

雀宮地区の宇賀神と申します。雀宮地区の多年の懸案事項が皆さまのご尽力によりまして途上ではありますけれども解決しました。まず駅舎ですが宇都宮線の中でも一番古い部類に入ったのではないかと思います。おかげさまで新しくなり地元でも非常に喜んでおります。3月29日に供用開始ということで地域を挙げてお祝いしようと計画していた矢先に大震災により中止になってしまいました。

それからもう一つはこれまた懸案事項でありました南図書館ができて、雀宮地区はかなり文教施設が充実してきたなと感じております。小学校、中学校、高校を含めまして9つに加え、地域のまちづくりの拠点施設でもある図書館ができ新たな取組みをしていきたいと考えております。

まだ駅前の停車場線，安塚街道の拡幅など懸案が残されておりますが何卒よろしく申し上げます。大変ありがとうございました。

山島委員長

どうもありがとうございました。それではまだ多少時間がございますので今日現地を見た中で何かあれば。三橋先生はいかがですか。

三橋委員

そうですね。テクノポリス地区のことで少し気になったことがあります。他の二つの地区について，例えば上河内の中里原土地地区画整理はそんなに広くないし，雀宮の方も駅舎を中心に比較的コンパクトな事業地区ですからいいんですが，テクノポリス地区は約 177 ヘクタールあり，全ての事業が交付金の対象というわけではないので，事業の評価に直接つながらないと感じました。

また，今後 10 年以上かけてまちづくりができていくこととなりますが，例えば小学校，中学校の通学路はどうなっているのかなどが気になりました。学校まで結構遠距離でしょうし，中学生が部活などで帰宅する際，夏はよくても，冬は日が暮れるのも早いですし，街灯がまだそれほど付いてない気がしましたのでそういう防犯の問題が気になりました。

評価には直接は関係ありませんが，特に区画整理の地区では以前，鶴田地区でも同じような課題があったかと思います。目標には掲げられていませんが，新しい住宅地が形成されるまでの間どのように安全なまちにしていくのかということも課題になると感じました。

市としても当然何らかの責任があるでしょうからそういうところを少し改善いただけるとありがたいと思います。

山島委員長

このテクノポリスセンター地区については大目標で定住人口の拡大と書いてありますから，こういうものを作っていけば人口が増えるというのが素直に読めるといいですね。ただ公園を整備すれば目標が達成するかというと難しいですから。

来週どのような評価の進行で進めていくかにもよりますが，あまり大きな地区ですと評価が難しいですから，その辺を少し考慮して議論しないといけないと思います。

目標に書いてあることにどうつながるかということですね。それはまた来週ということで。それでは那須野先生はいかがですか。

那須野委員

交付金の使い道とは直接つながらないのですが、交通の問題がやはり気になっているところです。

最初の中里原地区の場合にはオンデマンドバスがあると現地で伺ったのですが、それがどのくらい利便性があるのかということをもっとお聞きしたいと思います。

その次のテクノポリス地区の場合にも、私の大学の留学生が住んでいたのですが交通手段が無いんですね。中心部でアルバイトするため自転車で片道45分もかけて通っていたのですが、さすがに通いきれないということで中心部に移ってしまいました。やはりそういうところをどうしていくのかということが気になったところです。

山島委員長

このような質問を出していただきましたが、今日は時間も時間ですので、今日出た質問への回答を来週用意していただければと思います。塩野谷委員はどうですか。

塩野谷委員

私も事業そのものは良いのだけれども、今後の周辺へのまちづくりの広がりとかつながりがどうかなと心配しております。

山島委員長

交付金の評価というより市の政策として本当に公共交通をどうするのかというのはありますね。また街灯が無いというのも私が今実施しているアンケートでもだいたい書かれています。子どもや高校生が自転車で帰ってくる時に危ないということは言われているので、まち全体の議論としてはあると思います。その辺もまた来週議論したいと思います。野澤委員はいかがですか。

野澤委員

3箇所見せていただきましたが特に雀宮地区は図書館と工業高校ができ、だいたいまちの状況が変わってきているなと思います。あとは南の玄関口としての雀宮地区を拠点として西口の開発も含めどう位置づけていくのかというのが非常に重要ではないかと思っています。

山島委員長

今日の話はいずれもまちづくり交付金ですから、まちにどうい
う影響を与えるのかという少し広い範囲で考える必要があるの
ではないかということだと思います。少しその辺も来週の評価の
ときに議論できるようにしていただければと思います。

ということで丁度時間となりましたのでとりあえず今日はこの
辺でよろしいでしょうか。では最後に事務局の方から。

< 5. その他 >

事務局

はい。ありがとうございました。

今回の第1回の評価委員会につきましては事後評価を行う地区
の概要等をご覧いただきました。次回の第2回の評価委員会につ
いては、事後評価原案のご審議をいただきたいと思います。

次回は11月17日の木曜日、宇都宮市教育センター修道館1
階のコミュニティホールで午後1時15分から行いますのでよろ
しくお願い申し上げます。

< 6. 閉会 >

事務局

それでは、これもちまして第1回宇都宮市まちづくり交付金
評価委員会を閉会いたします。

長時間のご審議ありがとうございました。

(終了)

